



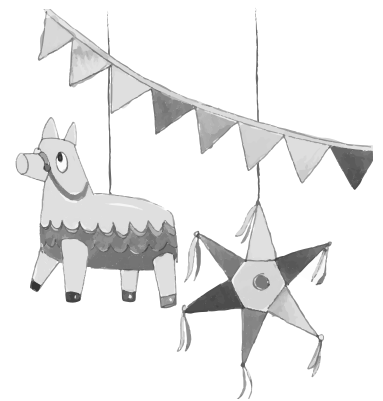
メロン、丸い形は地球に見える?メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします!

巻頭	夏休み! 阪大でピニャータをつくる!	…… 1	報告	MAFGA インターン1年間のふりかえり(後編)…… 6
インタビュー	箕面市国際交流協会 30周年に寄せて	…… 2	カレンダー	2022年11月の comm cafe ランチカレンダー…… 9
報告	コロナにもめげず、ドイツに行ってきた!	…… 4	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ …… 10

夏休み! 阪大でピニャータをつくる!



8月17日・24日大阪大学新箕面キャンパスの協会サテライトオフィス「ひとこま」のスペースで、「夏休み! 阪大でピニャータをつくる」(協力: 大阪大学外国語学部/こどもの都市 Mini Mi ~ no 実行委員会)が開催された。



ピニャータとはメキシコでお誕生日などのお祝いの場でよく使われる日本のくす玉のようなもの。紙で作られた枠の中にキャンディなどのお菓子を入れ、吊るして棒で

叩いて割るゲーム。協会の小学生向け英語講座でおなじみのロクサナさんを講師に、地域の小学1年~5年までの11名が集った。

1日目の8月17日、ふくらました風船に片栗粉を煮詰めて作ったノリで新聞紙をベタベタと貼って形を作っていく。「ノリは端っこまできちんとつけて貼り付けてね!」お手本を見せるロクサナさんの手先を真剣に見つめる子どもたち。すぐに作業が終わる子ども、ノリと新聞紙に苦戦する子どもと様々だ。



2日目は、1週間後の8月24日。乾燥したピニャータに、今度は色紙で飾り付けていく。丸い外見から、サッカーボールを作る子ども、円錐の厚紙をコーンに見立てアイスクリームの形に仕上げている子ども。皆、個性的で思い思いのものを作っていく。紙吹雪(コンフィラティ)やキャンディなどのお菓子などを詰めて完成させ、自宅に持ち帰った。サプライズ!で、講師と職員でつくった巨大ピニャータ

発行・差出人: 公益財団法人箕面市国際交流協会 (MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel: 072-727-6912 Fax: 072-727-6920 E-mail: info@mafga.or.jp HP: www.mafga.or.jp

賛助会員数: 276名 法人会員数: 26団体 (2022年10月15日現在)

が出てきて、子どもたちから歓声が上がった。メキシコの歌を歌いながら、ゆらゆらゆれるピニャータを子どもたちが交代で棒で叩いていく。数回目の挑戦の後、やっと割れてお菓子がこぼれ落ちた！と、思ったら、ピニャータをめがけて一斉に子どもたちが駆け寄る。タッキー FM816 の取材も入って、会場は大忙しだった。

いつもはセンターで実施する夏休み企画。「阪大ひとこまのスペースでの開催は大変だが、新鮮だった。何気ない会話をしながら、関係性を作れた良い場だった。子どもたちが長期休みと際などにふらっと立ち寄って、ひとこまのメンバーや大学生たちと出会い交流を深める場になってほしい」と、担当者は振り返る。



そろりそろり。コロナ前…とまではいかないけれど、少しずつ子どもを対象とした企画を始め、地域と繋がりを取り戻しつつある。(末原)

箕面市国際交流協会 30周年に寄せて

■ 荻野克彦さんからのメッセージ

(プロフィール)

2004年～協会ボランティア、元協会理事長・現理事 月刊情報誌「めろん」0号からのメンバー

当協会は今年6月で創立30周年を迎えた。多くの皆さんの努力の成果を祝う年であると共に、この30年を振り返り、課題を見つけ、今後の活動につなげる節目の年でもある。

私が当協会のボランティアになったのは04年2月。退職後しばらくぶらぶらしていたら、会社の先輩がこの協会を紹介してくれた。米国勤務で家族が現地の人のお世話になったので、その恩返しとして活動しようと思った。はじめ気になったのが活動内容とお金はどうなっているのかという事。会社人間の性である。豊川支所2階にあった協会事務所でまず決算報告書を見せてもらい、財政状況を知った。

箕面山聖天宮西江寺

役行者により658年飛鳥時代に開山。日本最初の歓喜天霊場。大聖歓喜天は象頭人身のインドの神様ガネーシャが起源とされる。



〒562-0001
大阪府箕面市箕面2丁目5-27
072-721-3190
阪急箕面駅より北へ徒歩約10分



写経・阿字観瞑想・お茶室体験・ヨガなど開催中



当時、協会職員は5名。賛助会員は310名。05年4月に岩城さんが初の民間出身の事務局長として登場、改革が始まった。厳しい財政事情から先ず賛助会費を2倍に値上げ。06年2月、初のボランティア総会が開かれ、市の担当者も来て財政問題なども含め、議論した。06年4月「めろん」創刊。私はその担当となったため、記事を書くためには様々な勉強をせざるを得ない立場になった。当時財政ほか様々な問題があり、危機感からボランティアは活気に満ちていた印象が強い。

今は、立派な建物ができ、カフェができ、職員数も予算も05年当時とは比べものにならない。ボランティアはじめ多くの関係者の努力、市長はじめ市側の理解のお蔭である。この多文化交流センターができて9年、コムカフェなどセンターを活用しての活動の基本形は出来上がったと言ってよい。

30年も経ったので、協会だけでできる事業は、一部を残しほぼやりつくしたと思われる。残っている課題は市や他組織、市民を巻き込まなければならぬものが多い。他者を巻き込む力を協会はもっともっと強めねばならない。過去30年を振り返って思うことをいくつか挙げてみる。

1. 外国人市民の協会への評価、意見、要望を知ること。これが協会活動のベースになるべき。昔は市が主導してアンケートやフォーラムで意見をまとめていたが、ここ17年行われていない。今後、市・協会が連携してやるべきであろう。他に地方参政権の無い外国人市民の意見を広く拾い、広く伝

える努力も必要と思う。

2. 市の国際化指針(12年3月)にある外国人市民の医療、救急、防災の充実。これらは人権問題であり課題はまだ多い。例えば新市立病院の設計では是非外国人医療への配慮をして欲しい。防災では外国人市民と自治会・地域の人との連携が重要だが、彼らとどう関係性を作っていくか。

3. 外国人市民の就労支援、適正な労働環境の確保。企業とどう繋がっていくか。

この30年間で市の外国人人口は2倍強増えた。少子高齢化が進む中、外国人人材の受け入れは重要な国策であり、彼らの家族帯同、永住権付与も増えて行くであろう。当面はコロナや円安が影響するが、長期的には外国人人口はもっと増える。彼らが暮らしやすいまちづくり、豊かな共生空間づくりの重要性を、30周年を機に今一度噛みしめたい。

■ 川井ピヤラットさんからのメッセージ

(プロフィール)

タイ出身。日本の絵本をタイ語に翻訳して、タイの子どもたちに絵本を届ける「サワディープロジェクト」を主宰していた。「箕面手づくり紙芝居コンクール」にも参加。

1989年に留学生として日本に来て、友だちのホストファミリーの家でたまたまトムヤムスープをつくって夫と出会った。そして結婚して日本へ。あれから33年。MAFGA(協会)はいい場所よ。はじめのころからお世話になって

「わかる」だけでは物足りない!! 「わかった」だけでは成績は上がらない!! 「できる」ように数林は教えます!

学校レベル別個別指導のびっくろ効果!
見逃さないで!!

中1~高1 成績を上げる! 在籍校別個別指導 1:2
週1回の通塾でOK! (80分×2コマ)
学校の少し先を先取り学習します。
質問取りではない、丁寧な講義と演習みっちり!!

高2・高3 大学受験対策個別指導 1:2
志望大学を攻略する数学力をつける 一人ひとりにあわせて
内容で、志望大学合格レベルに数学力を引き上げます。
基礎復習から共通テスト対策も万全 実践力を鍛え上げ
共通テスト200点獲得へ最短距離で導きます。

学校の成績を
取って
もらえるから
わかいやあし!



受験よろず相談承ります!!
成績や進路のお悩み、成績を上げる学習ポイントなど、塾長がオンラインで御相談に応じます。(事前予約制・無料)

受験数学専門塾

数林



ホームページ
豊中市本町1丁目2-53 高山第3ビル5F
TEL 06-6852-1925
https://www.suurin.com
mail@suurin.com

いる。国際交流協会は人間と人間の交流のなかで学ぶところ。もちろん意見があわない人もいるけど、私もここから沢山知り合いがつながっていった。いろんな地方から来ている人が、ちがった子育てや料理、ライフスタイルを持っている。そういう話を聞いてびっくりしたことがたくさんある。なんでこんな考えをするのか、もっと知りたくて、もっと友だちになりたい、というのが私の性格。いっしょにお茶のもう！って。それで自分の知恵が多くなった。私は日本語がなかなかうまくならないけど、コミュニケーションは言葉だけじゃない。その人の態度が一番のコミュニケーション。人間は態度で一番わかる。友達になるか、ならないか。

30年前は多様性なんて言葉は聞いたことなかった。「早く日本人になって」と言われて、娘のことでも「タイ語はいらない」と周りに言われていた。でも今は社会の色が変わった。

国際交流協会はできて30年になるけど、まだ出会っていない地域の人がたくさんいる。国際交流協会には自分たちの色に、そんな周りの人の色をまぜて新しい色、赤と青をまぜて紫色の未来にむかってほしい。会議のような話ばかりしないで、いっしょにお茶を飲んで話しをして、それでもっと周りのひとが沢山くるようにオープンになってほしい。All together in dignity! 子どもも年寄りも、お金がある人もない人も、みんな尊厳をもっている。言葉は本当は壁じゃない。

職員は忙しそう。でも自分の仕事のなかに、子どもがおもちゃで遊ぶような「あそび心」をもってほしい。職員の皆さんともお茶飲みたいわ。MAFGAで仕事して自分はどう変わった？そんな話をしたら、もっと親しみやすくなると思うよ。(聞き手：河合)

■ 中野舜子さんからのメッセージ

(プロフィール)

留学生と交流する地域団体「チャターボックス」、交流型日本語教室「ひまわり」の前身の「かえで」から活動し、長年協会との関りを持つ。

出身は広島。夫の転勤で日本各地に住み、箕面市粟生間谷に家を構えたのは1979年。当時は今より自然も深く、雉狩りをする人もいて、彩都も山麓線もまだありませんでした。家から近い大阪外国語大学。そこの留学生と交流するチャターボックスと1991年からは協会のホームビジットの活動に参加し、アジアを中心に世界中からの留学生と出会い、家にあるアルバムは、私たち家族と写る留学生の写真でいっぱいです。

活動を始めた90年代前半。その頃20歳前後の中国や韓国の留学生の親に戦争体験者を持つ人も。複雑な思いを抱えながらも日本に来ていました。だから私の交流のモットーは“個人のレベルからの世界平和”。

現在、大学生の孫が世界一周旅行中です。海外に経験の少ない孫が海外に興味を持っているなんて驚きでしたが、小さい頃から留学生を通して異文化にふれてきた経験が、心の中にあっただけでしょう。様々な文化や言語を持つ人がいて、海外＝欧米だけでないことを感じ取っていたと思うと嬉しいです。

もう20年ほど前に協会のホームビジットで受け入れたタイからの留学生。その方が〇月に孫がタイを訪問した際に、現地案内をしてくれました。長年の活動のバトンが次の世代に渡されていると感じている。このような小さな積み重ねが平和を築くのかもかもしれません。

協会との関りのお陰で色々なことを学び、視野が広がり感謝しています。まだまだ箕面の中でも協会の知らない方も多いので、この30周年を機に、次の10年はもっと広く知られて欲しいですね。(聞き手：末原)

コロナにもめげず、ドイツに行ってきた！ (2022.8～9)

-Stuttgart 滞在記

夏の終わりの3週間、娘家族が住むドイツ・シュトゥットガルトに行って来た。ドイツは今年6月にコロナによる規制を撤廃している。そのお陰で、「ワクチン証明書」の提示も必要なかった。

現在マスク着用の義務は、航空機と電車、バスの車内、そしてビザの申請所のみである。それ以外はスーパーも、カフェもほぼ見かけない。今、ドラッグストアには抗原検査キットが山積みで、1つ1.99ユーロ(約300円)と、日本では考えられないほど安い。

ドイツの医者薬を出さないと娘が言う。風邪気味の息子を日本の感覚で医者連れて行ったところ、「ああ、軽い風邪だね。ハーブティを飲ませておきなさい」「ハーブティ?」「スーパーに売ってますよ」小さなスーパーでもお茶・コーヒーの一角に"Bad Heilbrunner"と書かれたお茶(ティーバッグ8個入り)が並んでいる。風邪、胃腸、睡眠などと効能が書かれ、子ども用もある。娘は半信半疑だったが、それを飲ませているうちに治ってしまい、それ以降風邪ひとつ引かないようだ。

一般家庭にエアコンはない。娘たちは扇風機もないから、どんな暑い日もうちわで凌いでいる。日中はかなり暑いけど、朝晩は震えるほど涼しいから我慢できるのだ。どんなに暑くても、ドイツの人々は帽子も被らず肌を出して歩いている。長い冬を乗り切るために太陽の出ている夏を大切にしているらしい。

もう一つないものが温水洗浄便座である。引っ越しの手伝いをしてくれた日本人女性に娘が頼んだところ「ドイツでは温水洗浄便座は悪だからダメです」と断られてしまった。日本では一般的になりつつあるが、そう言えば美術館にも、街の有料トイレにも無かった。考えれば、1日中暖かい便座は電気代が掛かる。そして「アパートだから、夜10時以降はトイレを流さないでください」とも、これはかなり困った。こっそり流したけれど、階下から文句は来なかった。

長い冬は、娘の暮らすアパートは寒くなると床暖房が付く。ドアを入ったとたん、廊下もトイレも床暖房なので、家の中は暖かく他の暖房器具は必要なかったそうである。だから日本のように、彼らは家に帰ると靴を脱ぎ、素足でベタベタ歩いている。ドイツの人たちはどうなのだろう。

娘たちのアパートはStuttgartの中でも郊外にあり、至る所に森と公園がある。朝6時になると教会の鐘の音が聞こえてくる。日本にお寺があるように教会があちらこちらにあり、1日中鐘の音で時間が分かる。



アパートの近くに、広い公園があり、入り口は自由に入れる。小さな木の板に"Universitat..."の文字が読めたけど、中は散歩している人、芝生で昼寝をしている人もいる。子どもの遊具も沢山あり、小さな子どもたちが遊んでいる。迷子になりそうなほど広い中を娘と二人で歩いてみた。植物の前で、学生たちが先生の話に耳を傾け、赤や緑のブドウがぎっしりしげっている畑もある。「ここ、農学部には違いないね」北の端まで行くと素晴らしいお城があり、学生たちが入っていく。ここは1818年設立の農学・林学・経済学のホーエンハイム大学で、校舎はカール・オイゲン侯爵の別荘だったホーエンハイム宮殿だった。それに

しても古い建物をそのまま大事にしていることにびっくりし、羨ましくもあった。たくさんの植物の中にススキが生えている。根元を見ると、"Japan (ヤーパン)"のふた。研究のために日本から運ばれたのだろうか?何だかうれしくなってしまった。

今、娘たち家族はドイツに住む外国人である。アパートの住人は、会うとにっこり「ハロー！」と挨拶してくれるが、言葉が分からないのでお喋りができない。「にほんご教室」の学習者と同じ悩みを、今まさに味わっている。娘の夫の職場は、日本人は上司と二人だけで、あとは全員ドイツ人である。仕事は英語だから困らないが、お昼休みになると皆ドイツ語でお喋り。仲間にも入れず、一人買ってきたパンを食べるのは侘しかったと言う。家族が行くまでの3か月間、時々「寂しい！」とLINEが来たようだ。今は、にぎやかな家に帰るのが楽しいらしい。

にほんご教室の学習者も、職場や大学は英語だが、授業が終わると急に日本語が飛び交う。「少しでも日本語が分かるようになりたい」と言うのが教室に通う理由で、フリートークを希望する学習者も多い。私たちが手助けできる事がきっとあるに違いない、と強く感じたドイツの滞在だった。(井嶋)



MAFGA インターン1年間のふりかえり (後編)

ゲン・チュック・リン

(2021年度協会インターン)



リンさんの日々の活動はこちらから。

■ マフガでのインターンから将来の仕事に…

やりたい仕事はまだ分からない私は、将来のことを聞かれたとき、いつもなんとかして答えていた。同じ学年の友達たちが内定をもらってから、私も自分の将来を心配し始めた。最初の3年間は卒業単位を全部取って、4年になったらインターンに行って、卒業後帰国して日系の企業に勤めるのが最初の予定だった。でも、予想外なことにインターンの途中でJETプログラムの国際交流員(CIR)をめざすことになった。

毎朝の朝礼で、よく「JET 駐在*」という言葉聞いて、家で調べてみると「JETプログラム**」の存在を初めて知った。毎年色々な国の人を募集するのも分かった。将来、国際交流の世界で活躍できたら良いなと思い、職員の皆

さんにサポートしてもらって、応募書類を早めに完了させ、在ベトナム日本国大使館まで無事に届けた。

■ JETプログラムの選考結果は…?

4月に面接を受け、6月に合格の結果が届いた。私が希望していた勤務先は全部関西地域だったが、なんと京都府木津川市に配属することになった。大変嬉しく、一所懸命頑張らなければならないと思った。合格後の手続きが、私一人でできないものがたくさんあったが、JETプログラムに詳しいマフガのスタッフが色々相談に乗ってくれて、順調に書類を提出することができた。本当に助かった。

3日間の東京での研修が終了後、京都府に配属されているJETプログラム参加者と一緒に移動するとき、大阪府に配属されるALT(外国語指導助手)に出会った。彼女と配属先について色々話していて、なんと、箕面市に配属されること、私がお世話になったマフガのスタッフがサポートしていることを知った。びっくりするほどの偶然の出会いだった。京都と大阪が近



中央がリンさん

いので、またマフガに遊びに行き、彼女と大阪で再会すると約束した。

木津川市役所に着任してから2週間しか経っていないため、まだ大変忙しいとは言えないが、国際交流員の業務内容は、主に木津川市に在住しているベトナム人に向けた生活情報の翻訳・通訳、日本語教室のサポート、広報作成などだ。これまで木津川市役所には英語圏の国際交流員が3人いた。私はその後継者として、母国語であるベトナム語だけでなく、英語翻訳・通訳も頑張っていきたい。勤務先の同僚から、「新しい仕事はどうですか」などよく聞かれているが、正直に言うと、マフガでインターンしたときとほぼ一緒だった。マフガで経験していた翻訳・通訳はもちろん、公用車・コピー機の使い方など事務作業まで似ているところが多かった。朝礼もあったが、「一言」コーナーだけがなかった。共通点多すぎて、まだ2週間だが、ずっと長い間ここに働いていたように感じる。

日越外交関係樹立50周年を迎える2023年に、政治や経済、文化などの幅広い分野で、政府間にとどまらず、草の根レベルでの人的交流も活発化すると予想される。少しでも両国間関係の発展に貢献できたらと思う。

■ 終わりに

大学1年から3年までずっと勉強に没頭し、スケジュール帳はおろか卓上カレンダーも持っていなかったのに、4年に入ってからマフガの仕事に巻き込まれて、空白のないスケジュール帳になった。休日が少なくなっているけど、習っ

たことがマフガでの仕事、また困っている人に役立つことで、どんなに疲れても幸せになる。「忙しいが、幸せ。今日は無駄にしなかった」、「暇より忙しいほうがいい」と考え始めた。ベトナムでは「学生までの生活は練習。大学を卒業してからが人生の本番」だとよく言われる。本番の社会人になる前、この一年間、マフガで「社会人生活 模擬体験コース」を終了したように感じている。

マフガでのインターンをきっかけとして、様々な事業に携わり、貴重な経験をし、将来の仕事にも繋がっている。もしインターン面接に落ちていたら、未だに自分のやりたいことが見つからなかったかもしれない。もしマフガでインターンしないと、JETプログラムの存在も知るはずがない。今の仕事にも繋がらないはずである。あらためて、心から感謝します。

素敵な方ばかりに出会う一年間。思い出たっぷりの一年間。自分の最も成長した一年間。そして、マフガでインターン生として活躍する一年間。マフガはこれから、もっとたくさんの人を繋げられるように、祈っています。皆さん、いつも元気で、幸せでいてください。(おわり)

*JET 駐在…箕面市に配属されている JET プログラムの外国語指導助手の生活上の困りごとや相談に対応するため、協会スタッフが週2日、JET 教員の宿舎近くで行っている相談対応業務。
**JET プログラム…語学指導等を行う外国青年招致事業 (The Japan Exchange and Teaching Programme) の略で、外国青年を招致して地方自治体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業。

胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科



おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30 分前から受付します。

- 胃カメラは予約制です。
- 休診日：火・土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日
- http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/
- 【住所】562-0023 箕面市粟生間谷西3丁目7-9 シャトー野間1F 阪急バス停留所「宮の前」スーパーマルヤス向い
- 無料駐車場 有

TEL 072-730-0721



エスパーロ
能勢
espero osaka

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間：金～月 11:00～17:00

http://espero-osaka.com/

箕面市国際交流協会の

多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912
(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時：火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法：来館、メール、電話

対応言語：日本語、韓国語、朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所：箕面市立多文化交流センター

コラム

アートの小箱

Vol. 12

多文化共生社会ってなんなんだ、と問い続け、アートの世界にその糸口を得た野崎ターラー(協会職員・アート活動家)による、不定期コラム。読者のみなさんにも、アートの世界に触れ、共生のヒントを感じてほしい。



"半熟"の時間



壁画作家の友人が、少人数で物をつくる会を主催していると聞いて遊びに行ってきた。

ものづくりは楽しい。手の中で何かを生み出すのは楽しいし、それに没頭している時間もいい。作業をしていると、次にやることばかり考えている落ち着かない思考が、「今、ここ」に留まる。

この日は、私を入れて5名で作業台を囲んだ。部屋は友人のアトリエなので、様々な「手作りの素」が部屋に溢れている。各々の作業も、いちから制作している人もいれば前もって途中まで出来上がったものに手を加えている人もいる。私はにぎやかボールペン(勝手にそう呼んでいる。写真参照)に取り掛かった。数種類のすでに出来上がったボールペンを土台に、それを小物で飾るのだ。指導役である友人から、ボールペンにつける「髪の毛」を選ぶように言われる。カラフルな羊毛の中から好きな色を探す。すでにこの時点でものづくりタイムは始まっている。それを針でチクチクして「髪の毛」を作る。私と同じ作業をするカップル、靴に裸足の絵を描く人、新婚の人は新居の表札を作っていた。皆、手元を見ながら、時にぺちやくちゃ時に黙々と作業をする。

集中力を高めるには一人で作業する方がいいかもしれないが、人と作業をすれば、誰かの意外なセンスを目の当たりにしたり、作品が出来上がるドキドキを共有することができる。これは一人では味わえない。

作業をしながら、他では接点がない人と他愛ない話をする。船上結婚式を控えている人、昔私が住んでいたところに今住んでいることが判明した人。時間、空間を超えて会話が飛び交う。

見ず知らずの人と会って話しをするのはハードルが高いが、今回の手作りの会のように、集まって作業をするのも人との出会い方のひとつだと思う。「ひとり以上みんな以下」の"半熟"の時間、過ごしてみるのもいいかもしれない。



壁画作家：今川咲恵
HP情報：<https://sakieimagawa.com>

11月
November



comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

火～土

9:30 - 11:30 **朝カフェ**
11:30 - 14:00 **ランチタイム** *売り切れ次第終了します
- フルメニュー ¥950

14:00 - 17:00 **午後カフェ**

日・祝日 *ランチはありません

10:00 - 13:00 **世界の朝ごはん** ¥660 (ドリンク付)

★箕面ふるさとカレンダー 2022 のテーマは「料理で世界旅行」
comm cafe のシェフによる「箕面産野菜を使った世界の一皿！」
毎月のシェフの日には、カレンダーのメニューが食べられます。

おしらせ

イートイン 再開しています!

■コロナウイルス感染拡大防止対策のため、
マスク会食にご協力ください。

2022年4月から、毎週水曜日は店休日
となっています。現在、新しい活用方法を検
討中ですので、しばらくお待ちください。

☒… スナック & スウィーツの日 ☑… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
	1 コフさん 《タイ》	2 店休日	3 ☒ MAFGA スナック	4 ルーパさん 《インド》	5 ティーさん 《ベトナム》	6 協会主催事業のため カフェはお休みです。 ☑ 10:00 ~ 14:00 ベトナムデー
7 休館日	8 ノックさん 《タイ》	9 店休日	10 クラウディアさん 《メキシコ》	11 アスイエさん 《イラン》	12 小野原公園で、 多民族フェスティバ ル開催中! 来てね!	13 世界の朝ごはん 《インド》 10:00 ~ 13:00
14 休館日	15 マリナさん 《スロベニア》	16 店休日	17 アスイエさん 《イラン》	18 フランクリンさん 《キューバ》	協会主催事業のため ランチはお休みです。 ☑ 10:00 ~ 12:00 ワークショップ: 記憶は弱者にあり	20 世界の朝ごはん 《イラン》 10:00 ~ 13:00
21 休館日	22 ジェニーさん 《アルメニア/シリア》	23 店休日 ☑ 9:30 ~ 16:30 フォーラムシアター	24 ノックさん 《タイ》	25 洪さん 《コリア》	26 フランクリンさん 《キューバ》	27 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ~ 13:00 ☑ 日曜日の試食会
28 休館日	29 ホーさん 《香港》	30 店休日				

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。 <https://www.facebook.com/mafgachallengecafe>



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで ※開催場所: 箕面市立多文化交流センター

☎: **072-727-6912** FAX: **072-727-6920** ✉: **info@mafga.or.jp**

イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。最新情報は協会 HP を確認ください。www.mafga.or.jp

イベント情報

読書会

Sunday Book Review

11/20 (日)
14:00 ~ 16:00

英語の原書を一緒に読みましょう!

読む本: The Remains of the Day / 日の名残

著者: Kazuo Ishiguro / カズオ イシグロ

場所: 講座室

参加費: 300円 + ドリンク代

申込み: 初参加の場合要申込

読書会

多文化共生理解のための読書会

11/20 (日)
10:30 ~ 12:00

2022年度のテーマ: 「ウトロ」から知る、在日コリアンの歴史

100年の歴史を、宇治市ウトロ地区の在日コリアンの視点から、日本社会を学ぶ。

定員: 10名程度 (要申込)

場所: ボランティア室

オンライン参加可

参加費: 無料

初回参加者への配布資料があるため、要申込

イベント

キューズモール× comm cafe

11/23 (水)

食でつながる、このひと、この世界

イランの食文化とその魅力を伝える。

◎サレヒー・メヌシュ (イラン出身) コーディネーター: 崔聖子

① 10:30 ~
② 13:30 ~

定員: 各5名 (要申込)

場所: みのおキューズモール
Center2F キューズリビング

参加費: 無料

意見交換会

ベトナムデー

11/6 (土)
10:00-14:00

ベトナムをまるごと一日楽しんじゃおう! ベトナム語講座、

ベトナムの文化紹介、書道や遊び、春巻きづくりのワークショップなど。

屋台メニュー: フォー、揚げ春巻き、ベトナムコーヒーなど

対象: どなたでも

場所: コムカフェ、2F 講座室
(小野原西 5-2-36)

定員: 各プログラムによる

参加費: 各プログラムによる

お祭り

多民族フェスティバル 2022

11/12 (土)
10:00-15:00

3年ぶりに小野原公園での多民族フェスティバルが帰ってくる! 今回は、飲食ブースはありませんが、ステージや世界のあそび Vival、ワールドマーケットでの物販、防災についてのブースなどいろいろと並びます。

対象: どなたでも

場所: 小野原公園
(小野原西 5-8)

参加費: 無料

イベント

在日朝鮮人から見た多文化共生～記憶は弱者にあり

11/19 (水)
10:00-12:00

「在日コリアン」がなぜ長く日本に暮らしているのかをご存じですか? 自分とは異なる人と「共生」とはどういうことか、ワークショップを通して考える。

◎金梨花

対象: どなたでも

定員: 15名 (要申込)

場所: コムカフェ

参加費: 無料 (ワンドリンク制)

イベント

フォーラムシアター 2022 日常の中の多様性

11/23 (水)
① 9:30-12:30
② 13:30-16:30

演劇型ワークショップの中で生み出される対話から問題解決を探るプログラム。◎内山唯日 (多様性教育ファシリテーター・日本語講師)

① 寸劇の台本作り

② 寸劇披露・鑑賞、意見交換と実践

※今年度から 2022 年度ボランティアセミナーの一環として実施。

定員: ① 5名、② 10名
(要申込)

場所: コムカフェ

参加費: 賛助会員・学生 無料

それ以外 3,000円

*詳しくは協会 HP を参照

唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で 40 年の歴史～

*バレエコース: 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書 (Dipolma) や、日本徒手療法士会より「徒手療法士」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3才～80才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース: 徒手療法士の資格を持ったバレエ指導者 (姿勢科学士) が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より 30M)

072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



(公社) 日本バレエ協会会員・AODT 会員



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。
 コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。

意見交換会

11/5 (土)
18:30-

箕面市議会 地域別意見交換会

より開かれた議会となるために、全議員23人が3班に分かれ、3つの地区で意見交換会を開催。箕面市内にお住まいの方は、どの地区へも参加可。ただし、一人1回限り 他に、西地区:11/12 西南生涯学習センター ホール、中地区:11/5 みのお市民活動センター 多目的室 でも実施予定。

場所 : 東生涯学習センターホール (箕面市)
 参加費: 無料 (要申込)
 対象: 箕面市民
 申込・問合せ: 議会事務局 072-724-6705

公演

11/11 (金)
19:00- 他

劇団態変 第74回公演 白花卉の歌

身体障害者にしか演じられない身体表現を追究するパフォーマンスグループ。作・演出・芸術監督 金満里
 11月11日(金) 19:30~★、12日(土) 14:00~、18:30~、
 13日(日) 12:00~★、16:30~ ★アフタートークあり

場所 : 伊丹市立演劇ホール (伊丹市伊丹2-4-1)
 チケット: 前売 3,500円
 当日 4,000円
 主催: 劇団態変 <http://taihen.o.o07.jp/>
 チケット: アイホール 072-782-2000

セミナー

11/12 (土)
14:00-16:00

『生きる』思想について考える

~「資本の経済」、「国家の経済」そして「生活の経済」労働の意味について考える~
 哲学者の講師と共に、地球規模の視野で今の日本の状況や憲法、政治の
 について考える。◎田畑 稔 (元大阪経済大学教授)

場所 : 人権平和センター豊中 (豊中市岡町北3-13-7)
 参加費: 無料 (要事前申込)
 定員: 40名 (先着順)
 主催: (一財)とよなか人権文化まちづくり協会
 06-6841-5300

美術展

11/16 (水)
~ 20 (日)
10:00-17:00

GAKUBI 第49回在日朝鮮学生美術展大阪展

11月16日~20日の5日間限定。大阪朝鮮学校の初級部生から高校生までリアリティに満ちた、個性が光る美術作品たちが並ぶ。ギャラリートークや、生徒たちによるプレゼンなどあり。

場所 : 東大阪市民美術センター (東大阪市吉田6-7-22)
 参加費: 無料
 主催: 在日朝鮮学生美術展実行委員会 (大阪朝鮮中高級学校 玄 072-963-0991)

上映会

11/18 (金)
11:00/14:30
/19:00

海辺の彼女たち

夢を抱いて日本に来たベトナム人技能実習生たちを追った映画の上映会。各回に、藤元明緒監督による舞台挨拶あり。
 2020年製作/日本=ベトナム/88分/ベトナム語・日本語

場所 : 箕面市立文化芸術センター中ホール (曾根東町3-7-2)
 参加費: 一般1000円ペア1800円
 主催: 豊中市市民ホール等指定管理者 06-6864-5000

イベント

11/23 (水・祝)
10:00-16:00

フェアトレードな一日~コーヒーと刺繍とフォルクローレ~

秋の日を、フェアトレードに過ごしませんか?
 通時~フェアトレード商品の販売
 11:00~ コーヒーWS:生豆から煎って挽いてマイコーヒーを(楓) ¥100
 13:00~ Ejaado 報告会: アフガニスタンと日本をつなぐ刺繍 (Ejaado)
 14:00~ フォルクローレ演奏 (UNU) (先着順)

場所 : コムカフェ (小野原西5-2-36)
 参加費: 無料
 定員: 25名
 主催: みのフェアトレードの会 楓
 問合せ: エスペーロ能勢
 080-3764-7905

セミナー

11/27 (日)
14:00-16:30

第2回箕面市姉妹都市交流フォーラム

箕面市の2つの姉妹都市、ニュージーランドのハット市と、メキシコのクエルナバカ市。今後もよりいっそう友好的な交流を続けるために、昨年に引き続き市民グループ「箕面市ハット市友好クラブ」と「箕面メキシコ友の会」の共催で開催する。

場所 : みのお市民活動センター (箕面市坊島4-5-20)
 参加費: 無料
 定員: 50名
 主催: 箕面市役所 文化国際室
 072-724-6769

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?



ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう!
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42~45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、
デザイン等を修得
昭和45~47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー
昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ: 〒562-0012 箕面市白鳥2-2-30 電話/FAX 072(721)4151
 E-mail info@coupe-de-minami.com URL <http://www.coupe-de-minami.com>

めろん編集ボランティアスタッフ 募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 編集会議の日程などについては、協会までお問合せください。

めろんの広報にご協力ください!

「めろん」をより多くの方に知ってもらうために、自治会やPTA、同窓会、研修、セミナーや授業など様々な催しで、地域から多文化共生を考えるためのツールとして配ってくださいませんか。置いてくださるお店なども大歓迎! お問合せお待ちしております。

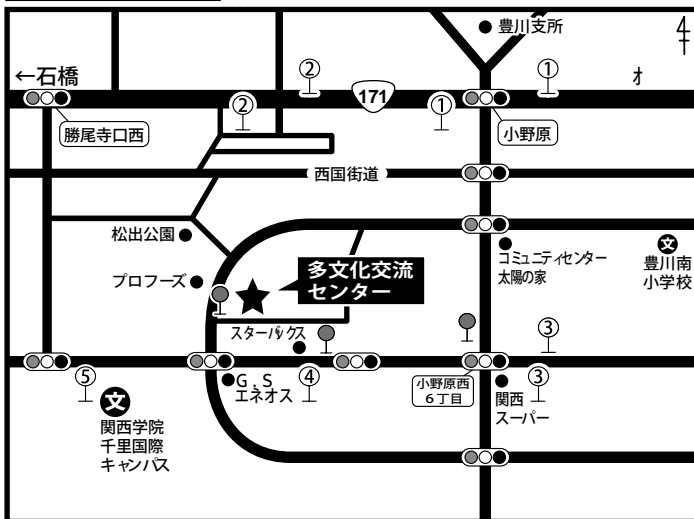
編 集 後 記

『目の見えない白鳥さんとアートを見にいく』(川内有緒著)を読んだ。「白鳥さんと作品を見るとほんとに楽しいよ!」と友人マイティ(あだ名)に誘われて著者は、全盲の中年男性である彼と三菱一号館美術館で初めて会う。目が見えないひとが絵を「見る」とはどういうことか、という疑問を胸に白鳥さんに肘を貸してアテンドすることになり、ピエール・ボナールの《犬を抱く女》の前に立つ。「じゃあ、何が見えるのか教えてください」と白鳥さんが囁き、彼は「耳」で見るのだと稲妻のように理解した著者は、おずおずと説明を始める。そして、「目の見えないひとが傍にいて目の解像度が上がり、〈中略〉互いの体の機能を拡張し合いながら繋がれることを発見したという」。以後、マイティや他の友人たちと共に、白鳥さんと全国の美術館をめぐるようになった二年間をまとめたのが本作である。

ひとは、ものを見ているようで見えていない、とはよく言われるが、例えば、作品に湖が描かれていると思っていたが、実は原っぱではなかったか? という話も出てくる。白鳥さん自身は、美術ではなく美術館が好きということで、説明してくれる人たちが、ああこうだとやりとりするのを面白がっている。とにかく、飄々とした白鳥さんと他の人たちとの会話が楽しい。皆、今を生きている感じがするのだ。「不確かさがなくてどこにワクワクはない」(白鳥さん)、「そのひとがそのひとのままで作品を見たり、作ったりすることが尊い」(マイティ)といった言葉も心に残る。もし治療で治るとなっても、このままでよいと言う白鳥さん。著者は、彼とは旧知のアーティスト、ホシノさんの「僕らはほかの誰にもなれない」、「この世界で、笑いたいですよ」という言葉に心打たれ、白鳥さんと共に作品を見続けてきて、ただ一緒にいて笑っていらればよかったのだ、と思い至る。

この本を読み終えて翌朝、目覚めた私は夢より先に、ふと田辺聖子の至言を思い出した。「人は何のために生まれてきたの? おもしろいことを言って、みんなで笑うため」。(山下)

アクセスマップ



バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
 - (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約200m
- ※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 55, 56 58, 59, 66	① 小野原 ② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
	92	① 小野原 ② 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷺尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ：(公財) 箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター
Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル : http://portal.mafga.or.jp/